

金沢学院大学・金沢学院短期大学

二〇二五(令和七)年度 入学者選抜試験問題

学校推薦型選抜〈一日目〉

二〇二四年十一月十六日(土)実施

国語

I 注意事項

問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。

解答用紙の解答科目欄に受験科目を記入・マークしてから解答してください。

問題は1ページから9ページまであります。

問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用することは法律で禁じられています。

II 解答上の注意

解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、「解答番号は 10」と表示のある問いに対して

④と解答する場合は、下記の例のように解答番号10の解答欄の④にマークしてください。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

問題は次のページからです。

問1 次の(1)～(5)の傍線部の漢字表記として最も適当なものを、①～⑤の中から一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

(1) 食品の製造カテイに問題がある。

- ① 課程
- ② 仮定
- ③ 過程
- ④ 家庭
- ⑤ 下底

(2) テンカイ禁止の道路標識。

- ① 典会
- ② 天海
- ③ 天界
- ④ 展開
- ⑤ 転回

(3) 是か非かのサイケツを仰ぐ。

- ① 裁決
- ② 採決
- ③ 採血
- ④ 採欠
- ⑤ 裁決

(4) 常にお客様のニーズをネットウに置いて、業務に励むこと。

- ① 年頭
- ② 念頭
- ③ 念当
- ④ 燃灯
- ⑤ 粘糖

(5) 責任の所在をツイキユウする。

- ① 追急
- ② 追究
- ③ 追及
- ④ 追給
- ⑤ 追窮

問2 次の(6)～(10)のカタカナ語の意味として最も適当なものを、後の語群①～⑥の中から一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

(6) イニシアチブ

(7) ガバナンス

(8) コミットメント

(9) フェーズ

(10) フェイク

語群

- ① 統治
- ② 消滅
- ③ 隠蔽
- ④ 確約
- ⑤ 局面
- ⑥ 夢想
- ⑦ 偽物
- ⑧ 放棄
- ⑨ 主導権
- ⑩ あだ名

問3 次の(11)～(20)の意味の慣用句を後の語群①～⑩の中から一つずつ選べ。解答番号は

11

～

20

- (11) 気が高ぶってじっとしていられなくなる
(12) 関係を終わりにする
(13) 目の前のごちそうを食べたくてうずうずする
(14) 軽薄な言動により不快になる
(15) 気づかれないように相手の考えをつかむ
(16) 信念を曲げない気質である
(17) 他人の不幸を自分に重ね、切実に感じる
(18) 自分の欠点をはっきり言われてつらい
(19) どうにもならなくなったことを悔やむ
(20) あまりにもひどくて見てもらえない

語群

- | | | | | |
|-----------|--------|---------|---------|---------|
| ① 耳が痛い | ② 歯が浮く | ③ ほぞをかむ | ④ 骨がある | ⑤ 手を切る |
| ⑥ 身につまされる | ⑦ 目に余る | ⑧ のどが鳴る | ⑨ 腹をさぐる | ⑩ 血がさわぐ |

問4 次の(21)～(25)の空欄に入れるのに最も適当な語を、後の語群①～⑦のうちから一つずつ選び、マークせよ。解答番号は ～ 。

(21) 一目でいいから会いたいというのが、彼女の 願いであった。

(22) 彼の成功は 努力のたまものだ。

(23) いつも お世話になっております。

(24) これは 国家の一大事だ。

(25) 事情により、今日は欠席します。

語群

① よんどころない

② なみなみならぬ

③ ゆゆしき

④ なおぎりの

⑤ たつての

⑥ ひとかたならず

⑦ あけすけな

⑧ やんごとない

⑨ ふつつかな

⑩ おぎなりの

問5 次の(26)～(30)の四字熟語について、誤りがあれば誤っている漢字の番号①～④を、例のようにマークせよ。誤りがなければ⑤をマークせよ。

よ。解答番号は ～ 。

(例) 四面楚家 ② 四面楚歌 ③ 四面楚歌 ④ 四面楚歌 ⑤
↓ 正しくは「四面楚歌」なので、④をマーク。

(26) 衣食同源 ① 衣食同源 ② 衣食同源 ③ 衣食同源 ④

(27) 三身一体 ① 三身一体 ② 三身一体 ③ 三身一体 ④

(28) 衆知徹底 ① 衆知徹底 ② 衆知徹底 ③ 衆知徹底 ④

(29) 実力伯仲 ① 実力伯仲 ② 実力伯仲 ③ 実力伯仲 ④

(30) 質素険約 ① 質素険約 ② 質素険約 ③ 質素険約 ④

問6 次の(31)と(35)の例文で使われている敬語について、正しいものには①、誤っているものには②をマークせよ。

解答番号は

31

と

35

。

- (31) ご注文の品はそろいましたでしょうか。
- (32) その件につきましてはあちらの窓口で伺ってください。
- (33) 塩を少々かけるとおいしくいただけますよ。
- (34) 私ごときにご遠慮する必要はございません。
- (35) このバスはご乗車になれませんので、次のバスをご利用ください。

問7 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

川端康成が美術品のコレクターだったことは、あまり知られていないかもしれませんが。特に川端は日本の古美術を愛しました。川端は言います。

「美術品、ことに古美術を見ておりますと、これを見ている時の自分だけがこの生につながっているような思いがいたします」

川端の蒐集したコレクションには国宝が3点含まれていました。川端が入手したあとで国宝に指定された浦上玉堂の「凍雲篩雪図」もその一つです。雪に埋もれた山中を画面いっぱい描いた作品で、そこはかたない寂寥感が迫ります。

また、池大雅「十便図」および与謝蕪村「十宜図」もそれぞれ国宝に指定された作品です。この江戸時代の作家2人によるおのおの10図は連作画帳になっていて、「十便十宜帖」と呼びます。

もう一つ、国宝ではありませんが、明恵上人筆の「夢記断簡」も川端が愛した作品です。川端は、この「夢記断簡」を書斎の押し入れから出して眺めていると、不思議なつかしさを感ずる、と書いています。そして「明恵上人を小説に書く時には、明恵上人の書を床に掛けて、筆の合い間に眺めていれば、それがなにか作品に働きかけることはないだろうか」と述べました。

結局川端は、明恵上人の小説を書くことはありませんでした。しかし、ここで取り上げる作品『美しい日本の私』を執筆する際に、川端は明恵上人の書を床に掛けていたのではないかと思えます。どういふことか、『美しい日本の私』の内容を紹介しながら説明しましょう。

『美しい日本の私』は小説ではありません。川端が昭和43年にノーベル文学賞を受賞した際、その記念講演のために執筆した原稿です。講談社現代新書版の『美しい日本の私』には、この記念講演の際に通訳にあたったエドワード・サイデンスターの英訳が付きまします。

この作品では、川端が愛した日本の歌を多数引用し、これらの歌を通して日本人が持つ美意識をあますところなく表現しています。

この作品で川端が、冒頭で取り上げるのが道元禪師の歌です。

春は花夏ほととぎす秋は月 冬雪さえて冷しかりけり

これに続いて川端が取り上げる歌、実はそれが明恵上人の歌なのです。

雪を出でて我にともなふ冬の月 風や身にしむ雪や冷めたまき

川端はこの歌について、明恵上人が書き記した詞書きを取り上げて、歌のこころを丁寧に解説します。

それによると、明恵上人は元仁元（1224）年12月12日の夜、ある禪堂に入って座禪をしていました。それが終わり、いったん峰の房から下の房へ戻るとき、雲間から月が現れて明恵上人の足元を照らします。狼おわかみが吼ほえますが、月明かりが頼りとなって恐ろしくありません。そして下の房に着くと、月は雲間に隠れました。

後夜こやの鐘の音とともに、明恵上人は再び峰の禪堂に登ろうとします。するとまたもや雲間から月が現れて明恵上人の足元を照らします。そして明恵上人が歩くと月も一緒についてきて、禪堂に入ると月は峰の向こうに隠れてしまいます。

月が人しれず自分についてきてくれたのだと思った明恵上人は、その様子をあの歌に詠んだのです。

明恵上人の歌について川端は、自然や人間に対する思いやりの歌、しみじみとやさしい日本人の心の歌だと記します。

先に川端は明恵上人の「夢記断簡」を所有していたと書きました。「夢記断簡」に右の歌が記してあるわけではありません。しかし、川端がこの『美しい日本の私』、中でも明恵上人のくだりを執筆していたとき、川端は「なにか作品に働きかけること」を願って、座敷の床の間に明恵上人の「夢記断簡」を掛けていた、と思うのです。もともとこれは推測の域を出ませんが――。

……問8の文章に続く

（中野明『ナナメ読み日本文化論』による。一部改変。）

問い この文章の内容と合致するものに①、合致しないものに②をマークせよ。解答番号は

36

45

- (36) 川端の古美術コレクションである浦上玉堂の「凍雲篩雪図」には、底知れぬ強烈な寂しさが描かれている。
- (37) 川端が明恵上人の小説を書かなかったのは、「夢記断簡」を眺めてもなんの発想も得られなかったからである。
- (38) 川端は『美しい日本の私』を書く時に、「十便十宜帖」を床の間に飾ったのではないかと筆者は考えている。
- (39) 『美しい日本の私』はノーベル文学賞を受賞したときの記念講演のために書き下ろしたものである。
- (40) 川端は『美しい日本の私』で日本の歌を多く取り上げ、日本人が持つ美意識について簡潔に説明した。
- (41) 川端は、月明かりが明恵上人を狼から守ったと記している。
- (42) 明恵上人は月に寄り添われるように、峰の禅堂と下の房を行ったり来たりした。
- (43) 明恵上人は月が自分についてきてくれたと思っただけの歌を詠んだ、と川端は記している。
- (44) 「雪を出でて」の歌には月にあこがれる気持ちが込められている、と川端は記している。
- (45) 著者は川端が『美しい日本の私』の明恵上人のくだりを書く際、「夢記断簡」から働きかけがあることを期待したのではないかと考えている。

問8 次は問7の文章の続きである。読んで後の問いに答えよ。

『美しい日本の私』の内容に戻りましょう。

川端は本書で、道元禅師や明恵上人のほかにも、良寛和尚、一休和尚、西行法師、小野小町、永福門院の歌を紹介しながら、歌に込められた日本の美、歌を通じてそこはかとなく心に宿る日本の精神について淡々と記します。

① というのも、川端に従うならば、「雪、月、花」という四季折々の言葉は、山川草木や森羅万象、そしてすべての人間感情をも含めた美を表す言葉として用いるのが日本の伝統だからです。

② 心とはいかなるものを言ふならん 墨絵に書きし松風の音
これは川端が掲げた一休和尚の歌です。

絵に松風の音など描けません。しかし優れた墨絵ならば、無いのにもかかわらず松風の音がする、すなわち無に有を感じることができるとでしょう。川端はこれぞ東洋画の精神、東洋画に見る空間や余白、省筆が、この墨絵の心だ、と書きます。

③ 川端が取り上げたこれらの歌に共通するのは、いずれも自然を愛でている点です。それを最もわかりやすく示しているのが、川端が冒頭に掲げた道元禅師の歌ではないでしょうか。

道元禅師の歌は「春は花、夏はほととぎす、秋は月、冬は雪」というように、春夏秋冬の代表的な景物を列挙しただけのものです。しかしこのありふれた自然の描写に川端は日本の美の真髄を見ます。

④ また、同様の精神は、日本の庭園にも宿ります。茶室の床の間にあるただ一輪の花にも宿ります。

⑤ ですから、『美しい日本の私』で取り上げられている歌には、単に自然の美を表現するだけでなく、そこには日本人が普遍的に持つ思想をも見出せます。

中でも川端が取り上げた歌の背景に漂うのが「無」の思想です。この「無」は西洋風の虚無ではありません。「むしろその逆で、万有が自在に通ふ空、無涯無辺、無尽蔵の心の宇宙」だと川端は言います。

このように無でありながらも万物を抱擁するもの、この矛盾を解決するもの、これが日本の美だ、と川端は言います。ですから、川端自身が本書の最後で書くように、「無」は西洋の虚無主義ニヒリズムとは全く異なる概念です。

しかし、『美しい日本の私』に見る川端の文章は、これ自体が美です。その背後には死をも包摂する無の思想が漂っています。それは、文中で芥川龍之介の自殺を批判しておきながら、川端自身の自殺を予感させるところか遺書めいた文章です。

作品自体が極上の美とも言える『美しい日本の私』をぜひとも一度、原典で堪能してみてください。

(中野明『ナナメ読み日本文化論』による。一部改変。)

問い 文章の枠内①⑤を意味が通るように並べ替えたとき、最後に配置される文はどれか。一つ選び、記号で答えよ。解答番号は 46。

**2025(令和7)年度 金沢学院大学・金沢学院短期大学
学校推薦型選抜（2024年11月16日実施）
解答例【基礎学力試験】**

国語							
解答番号		正解	配点	解答番号		正解	配点
問1	1	③	1	問5	26	①	1
	2	⑤	1		27	②	1
	3	①	1		28	①	1
	4	②	1		29	⑤	1
	5	③	1		30	③	1
問2	6	⑨	1	問6	31	①	1
	7	①	1		32	②	1
	8	④	1		33	②	1
	9	⑤	1		34	②	1
	10	⑦	1		35	①	1
問3	11	⑩	1	問7	36	②	1
	12	⑤	1		37	②	1
	13	⑧	1		38	②	1
	14	②	1		39	①	1
	15	⑨	1		40	②	1
	16	④	1		41	②	1
	17	⑥	1		42	①	1
	18	①	1		43	①	1
	19	③	1		44	②	1
	20	⑦	1		45	①	1
問4	21	⑤	1	問8	46	④	5
	22	②	1				
	23	⑥	1				
	24	③	1				
	25	①	1				

計	50
---	----